

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	6		個別療育スペースと集団療育スペースを分けることにより、児童が集中して療育に取り組めるよう工夫しております。	
	2	6		基準以上の人員配置で取り組んでおりますので、突発的な児童の増加に対しても対応させていただきます。	
	3	3	3	わかりやすく構造化された環境に配慮しています。階段がありますが、付き添って安全面に配慮しております。	今後も職員間で討議し、児童の障害の特性に応じて、可能な範囲で改善し、より良い環境作りを目指してまいります。
	4	6		毎日の清掃を徹底しており、室内の消毒についても衛生面に配慮して最善の対応を心がけております。	
業務改善	5	5	1	職員間の情報交換を大切に考え、全員が参考する定期的なミーティングや毎月2回のリフレクシオン会議にて意見を話し合い、振り返りを行っております。	職員の勤務時間や勤務に合わせて日時などを調整し、話し合いの場を創出していきます。また、職員全員が会議内容を把握できるように会議録を作成し、情報共有をしております。
	6	6		アンケート結果を基に、保護者様のご意向を把握し、全職員で情報共有を行い、保護者様や児童の意向に沿って業務改善を行っております。	
	7	6		COMPASS 発達支援センター公式 Web サイトにて公開しております。	今後も公式 Web サイトで公開してまいります。
	8	6		現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。
適切な支援の提供	9	6	6	本年度はコロナの影響から外部研修への参加は控えており、社内の研修動画等により実施しております。	今後も事業所内研修を継続し、必要に応じて外部研修等にも参加し、職員の資質向上に努めてまいります。
	10	6		初回面談時に児童の課題、および保護者様のご意向を踏まえ、支援計画の立案に努めております。	
	11	6		全事業所で統一化されたツールを使用しております。保護者様のご意向を尊重してまた各関係機関からの情報も取り入れ参考にしながらより正確にアセスメントができるよう心がけております。	今後も同様にアセスメントツールを活用し、保護者様のニーズ、児童の様子を把握し、病院や関係機関からの発達検査結果なども取り入れながら、よりよいアセスメントができるようしてまいります。
	12	6		各支援内容から児童・保護者様に必要な支援内容を抽出し、そのときの児童の様子・保護者様の意向に沿った具体的なわかりやすい内容を設定しております。	
	13	5	1	利用児童への直接支援は支援計画に沿っておこなわれるよう支援会議で共通認識、共通理解を図っております。また同じ療育や対応ができるよう、職員がいつでも支援計画書を確認できるようにしております。	利用児童の状況等に合わせた具体的な支援内容の検討や変更を職員全員で話し合い、支援計画に沿った支援を行っております。
	14	4	2	朝礼やリフレクシオン会議などで、全職員案を出し合い、分担・協力して行っております。	今後も活動プログラムは全職員で話し合い、立案・計画・検証してまいります。
	15	5	1	通常は課題の克服および定着を目指し、固定化した繰り返し行う療育に取り組むことが基本ですが、そのときの児童の様子や、日々の記録から進捗を確認し、毎日課題を検討しております。また児童の発達や成長に適した個別の課題に対し、職員それぞれの工夫や関わり方に変化をつけるなどして固定化しない活動内容を心掛けております。	
	16	6		児童の発達段階や保護者様の意向に合わせて、生活面や学習面のための個別活動と社会性のための集団活動を組み合わせた計画を作成しております。	
	17	6		毎日のスケジュールや、職員配置役割分担を把握できるよう打ち合わせをしようとして可視化し、共通認識を持って支援にあたるよう情報共有を行っております。	
	18	6		児童の支援終了後にはその日の振り返りや気付いた点などを報告し合い情報共有を行っております。	退勤時間や送迎により、その日のうちに打ち合わせは難しいですが、連絡帳を用いて翌日の朝礼で共有しております。
関係機関や保護者様との連携	19	6		記録は各児童ごとにその日のうちに行っております。記録により児童の状況の振り返りができております。	
	20	6		6ヶ月以内に必ずモニタリングを行い、児発管と療育担当者が現状の児童の成長や、保護者様からいただいた情報等を加味しながら、支援計画の見直しを検討しております。	
	21	6		担当学会議には児童の状況を一番把握している児発管が参加しております。	
	22	6		保育園、幼稚園とも密に連携を図る必要に応じて児童の様子や、日々の支援について情報を共有し、支援を行っております。	
	23	6		現在医療的ケアが必要な児童は在籍していません。	事業所は重症心身障害以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し、受け入れ体制・事業所のあり方について模索してまいります。
	24	6		現在医療的ケアが必要な児童は在籍していません。	事業所は重症心身障害以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し、受け入れ体制・事業所のあり方について模索してまいります。
	25	6		必要に応じて担当学会議や送迎などで保護者の同意を得て支援の見学や情報共有など連携を図りながら相互理解に努めております。	
	26	6		児童の課題に向き合い、いつでも相談し合えるような連携をおこなっております。	現在、該当者はございません。
	27	6		事業所を併用している児童については、担当者会議で情報共有を行ったり、相談支援専門員を通じて様子を見てその都度連携を図っております。	
	28	6		新型コロナウイルスの感染予防の観点から外部での参加は控えさせていただいております。	コロナ収束後に、保護者様のご意見もお聞きしたうえで、機会があれば是非交流を持ちたいと思っております。
保護者様への説明責任等	29	6		新型コロナウイルスの感染予防の観点から外部での参加は控えさせていただいております。	コロナ収束後は協議会、研修講義等積極的に参加し、児童への支援に繋げていけるよう努めてまいります。
	30	6		保護者様と来所時や送迎時に児童の様子を伺ったり、事業所での様子を伝えたりするとともに、達成したことや課題についての情報共有をおこなっております。保護者様や児童に寄り添うことを心掛け、共通理解を持って療育できるよう努めております。	
	31	5	1	保護者様からご相談を受けた際には、丁寧に説明を行っております。	今後も必要に応じて助言、アドバイスなどを行っております。
	32	6		契約時、重要事項説明書を丁寧に説明を行い、理解しただけできるよう心掛けております。	
	33	6		ガイドラインに基づいて支援計画を作成し、保護者様に説明を行ったうえで同意を得ております。	
	34	6		家庭連携や送迎時だけでなく連絡帳やお電話でも相談を寄ります。迅速な対応を心がけ、保護者様に寄り添いながら、児童の状況を踏まえて適切な助言・支援を行っております。	
	35	6		連絡帳や送迎時での面談、または電話にて、お悩みやご要望をお聞きし、丁寧な対応に努めております。	現在、保護者様は開催しておりません。
	36	6		保護者様からご意見をいただいた際には、全職員で情報共有・共通理解のうえ、迅速に対応できる体制を整えております。	コロナ禍にある現時点では保護者会は実施できておりません。コロナ収束後に再開してもスムーズに実施できるよう調整してまいります。
	37	6		公式 Web サイトや事業所だよりで情報の発信をおこなっております。	
	38	6		個人情報の取り扱いに十分注意しています。また児童の写真掲載等は、書面にて保護者様の同意を得たうえで掲載しております。	
非常時等の対応	39	6		児童や保護者様の特性などを把握したうえで、口頭だけでなく特性に合わせた方法を使って意思の疎通や情報伝達を行っております。	
	40	3	3	新型コロナウイルスの感染予防の観点から外部での参加は控えさせていただいております。	目標として地域に開かれる事業運営を目指しており、コロナの状況が落ち着けば情報発信等を積極的にこなしてまいります。
	41	6		各種マニュアルについては、利用契約時に職員間でも共有できるよう定期的に確認をしております。	
	42	6		火災、地震、風水害、不審者対応についての避難訓練を実施しております。	
	43	6		初回アセスメントでの聞き取り内容を記録として残し、職員間での共有徹底を図っております。	
	44	6		アレルギーについては、ご契約時に保護者様から聞き取りを行い、把握できるようしております。	現在、該当者はございません。
	45	6		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しています。	
46	6		職員間にて、言葉遣いや態度に対する基礎知識向上の為に会議を取り入れております。		
47	6		現在、身体拘束が必要な児童のご利用はありませんが、利用契約書には身体拘束の禁止を記載しており、生命または身体を保護する為によりやむを得ず身体拘束を行う場合は、あらかじめ文書により保護者様の同意を得るようしております。		

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。